

解 答 速 報

埼玉医科大学(後期) 生物

2021年 2月27日実施

【生物(解答)】

- | | |
|--|---|
| <p>1</p> <p>問 1 <input type="text" value="1"/> - ④</p> <p>問 2 <input type="text" value="2"/> - ②④</p> <p>問 3 <input type="text" value="3"/> - ④</p> <p>問 4 (1) <input type="text" value="4"/> ~ <input type="text" value="7"/> - ①②③④</p> <p> (2) <input type="text" value="8"/> ~ <input type="text" value="11"/> - ①②③④</p> <p>問 5 <input type="text" value="12"/> - ②</p> <p>2</p> <p>問 1 <input type="text" value="13"/> - ③</p> <p>問 2 <input type="text" value="14"/> - ⑤⑥</p> <p>問 3 <input type="text" value="15"/> - ②⑤</p> | <p>3</p> <p>問 1 <input type="text" value="16"/> - ①⑤</p> <p>問 2 <input type="text" value="17"/> - ②</p> <p>問 3 <input type="text" value="18"/> - ①</p> <p>問 4 <input type="text" value="19"/> - ②⑥</p> <p>4</p> <p>問 1 <input type="text" value="20"/> - ①</p> <p>問 2 <input type="text" value="21"/> - ①</p> <p>問 3 <input type="text" value="22"/> - ①</p> <p>問 4 <input type="text" value="23"/> - ③</p> |
|--|---|

【生物(講評)】

昨年、および今年の前期と比べると、問題の分量は減少した。時間内に解くことは容易であっただろうが、考察に悩んだ受験生も多かったのではないだろうか。今年度から理科2科目の解答時間が10分短縮されたこともあり、考察にかかる時間が得点を左右しただろう。

大問1について。内分泌系に関する問題。尿量計算は誘導がないまま原尿量を求めるため、基礎問題しか経験がないと難しく感じたかもしれない。レプチンは他大学でも出題されていた頻出の考察であった。大問2について。カイクガの生得的行動とホルモンに関する問題。考察も含めて、比較的解きやすかったであろう。大問3について。ウイルスの性質と増殖の仕組みに関する問題。問2は1本鎖RNAをもつウイルスであるから、シャルガフの法則は成り立たない。問4について、ハーシー・チェイスの実験を思い出しつつ、Sが小胞に存在すること、かつPが核には移行していないことに注意したい。大問4について。四肢の発生に関する問題。仮説を否定する選択肢を選ぶ、あまり見かけない問題。反証をするための選択肢であるから、勘違いしないように、選びたい。

全体として、計算が少なく、考察が多かった。知識よりは、実験考察を重視した出題であった。一次突破ラインは75%程度であろう。

メルマガ無料登録で全教科配信! 本解答速報の内容に関するお問合せは… YMS ☎03-3370-0410 まで